

# ケーヒン PD22 キャブレターキット 取扱説明書

製品番号	03-05-0110 (キャブレターキット)
	03-02-039 (マニホールドセット)

適応車種及び フレーム番号	スーパーカブ 50 (C50-0200001 ~ 0327924) (C50-0400001 ~ 0573585) (C50-0600001 ~ ) (C50-0800001 ~ ) (C50-2100001 ~ )
	リトルカブ (C50-4300001 ~ ) (C50-4400001 ~ ) (C50-4500001 ~ )
※スーパーカスタム仕様の車両は、リザーブ用フューエルホースが無い為、この製品のフューエルコックのリザーブ用フューエルホース接続部 (RES 部) をふさぐ必要があります。	

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品には、STD エアクリーナーの取り付けが出来ません。エンジン内部に水分が入り込んだ場合エンジン不調の原因となりますので雨天中の走行はおひかえ下さい。又、洗浄時等はキャブレターに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。
- ◎当製品のキャブレターは、次頁の状態でお届けしております。使用部品に応じたセッティングをする必要があります。個々のエンジンに合ったセッティングを行って下さい。
- ◎上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。
- ◎STD スロットル・スロットルケーブル使用。
- ◎この取扱説明書の取り付け要領は、スタンダードモデルをベースに記載しています。  
キャブレターヒーター付の車両の場合、キャブレターヒーターは使用出来ません。キャブレターヒーター付の車両の場合、コードを絶縁して頂き支障の無い場所に配線をまとめ、クランプして対応して下さい。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。）
- 走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み、ガソリンの漏れ等がないかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行ってください。（そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。）
- エンジンを始動する場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンをかけないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 取り付け作業は、車両を安定させた状態で行ってください。（車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。（火災につながる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等ご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	キャブレター ASSY.	1	03-05-0098
2	エアフィルター	1	03-01-1133
* 3	インレットパイプ	1	17112-GK4-T00
* 4	キャブレターガスケット	1	16210-GEF-T01
* 5	インレットパイプガスケット	1	91301-GEF-T01
* 6	フューエルコック	1	03-03-002
* 7	フューエルコックステー	1	16951-GK4-T01
* 8	フューエルチューブ 250mm	1	00-03-0203
* 9	チューブクリップ	2	00-03-0214 (2ヶ入り)
*10	ソケットキャップスクリュー 6x10	1	00-00-0065 (10ヶ入り)
*11	ソケットキャップスクリュー 6x15	1	00-00-0042 (10ヶ入り)
*12	ソケットキャップスクリュー 6x20	2	00-00-0043 (10ヶ入り)
*13	ソケットキャップスクリュー 6x30	2	00-00-0090 (5ヶ入り)
*14	フランジロックナット 6mm	3	00-00-0091 (6ヶ入り)
*15	インシュロックタイ	1	00-00-0179 (10ヶ入り)
16	メインジェット #105	1	00-03-0021
17	スロージェット #42	1	00-03-0140
*18	六角棒レンチ 5mm	1	_____

出荷時キャブレター状態

メインジェット	#95
スロージェット	#38
ジェットニードル	E2051G
クリップポジション	4 段目
スロットルバルブ	74B
エアスクリューオープニング	1-1/4

※印はマニホールドセットの内容を示しています。

・リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※記載の無い取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

各モデルにより仕様が異なるので、適応車種に合った純正サービスマニュアルを参照し、各パーツの取り外しを行って下さい。

セット内容をご確認下さい。

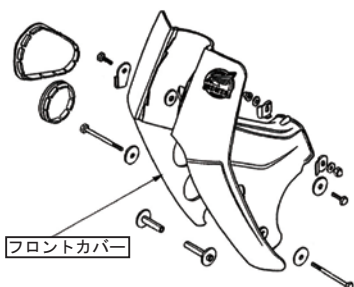
(取り付け準備)

▲注意：エンジン、マフラーが冷えていることを確認する事。  
車両を安定させる事。

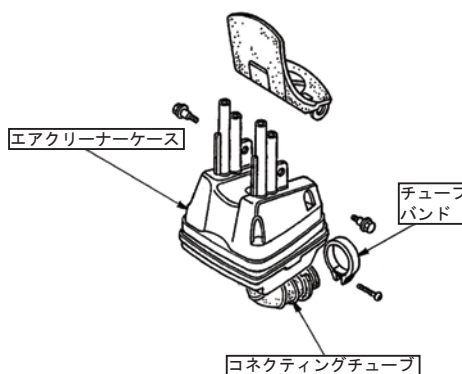
1. フューエルタンク内のガソリンをすべて抜き取ります。

▲警告：ガソリンの取り扱いには、十分注意する事。

2. フロントカバーを固定しているボルト4本と、ナット2本を外しフロントカバーを取り外します。



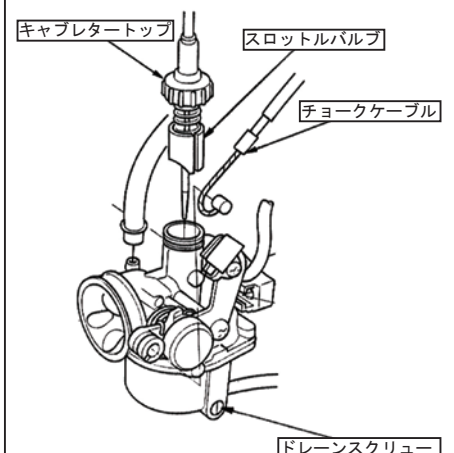
3. エアクリーナーケースを固定しているボルト2本とコネクティングチューブバンドのスクリューを緩め、エアクリーナーケースを取り外します。



4. フューエルコックを RES の位置にし、キャブレターのドレーンスクリューを緩めフューエルタンク内に残っているガソリンを受け皿に抜き取ります。

5. ドレインよりガソリンが出なくなるのを確認し、フューエルコックを OFF にしてドレインスクリューを締めます。フューエルコックよりフューエルチューブ2本を抜き取り、チューブ内に残っているガソリンを受け皿に抜き取ります。

6. キャブレターよりチョークケーブルを取り外します。キャブレタートップを緩め、スロットルバルブを抜き取りスプリングを圧縮しながらスロットルケーブルを外します。スロットルケーブルに残っているシーリングキャップとキャブレタートップを外します。



7. ホーンの端子を外し、ホーンを取り外します。シリンダーヘッド側インレットパイプのボルトを外しキャブレターとインレットパイプを一体で外します。

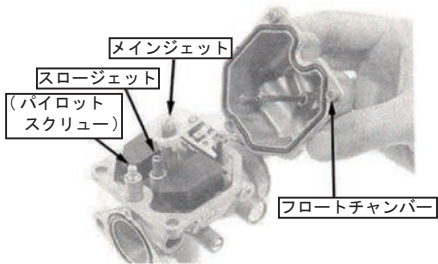
※インテークポートに異物が入らないように注意して下さい。

8. 取り外した部品を袋等に入れ保管します。

## (取り付け)

▲注意：トルクレンチを用意し規定トルクを必ず守る事。

1. PD22 キャブレターのフロートチャンバーを外し、メインジェット及びスロージェットをキット内の付属のジェットに取り替えます。

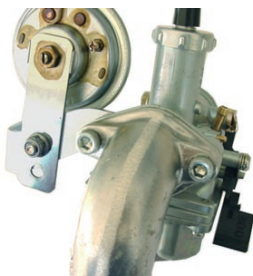


2. フロートチャンバーを元通りに取り付けます。  
 3. インレットパイプにキャブレターガスケット、キャブレター、フューエルコックステータを取り付け、キャップスクリュー 6x30 2本とフランジロックナット 2個を規定トルクで締め付けます。  
 この時、フューエルコックステータは、スロットルストップスクリュー側に取り付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
 ソケットキャップスクリュー  
 フランジロックナット  
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)

4. フューエルコックステータにホーンをソケットキャップスクリュー 6x15 とフランジロックナット 6mm で取り付け、規定トルクで締め付けます。

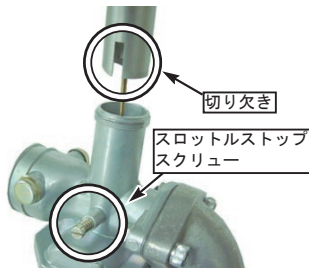
▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
 ソケットキャップスクリュー  
 フランジロックナット  
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)



5. 付属のキャブレターのトップカバーを外しスロットルバルブスプリング、スロットルバルブを取り外します。スロットルケーブルにキャブレタートップを取り付け、スロットルバルブスプリングを圧縮した状態でインナーケーブルをスロットルバルブに取り付けます。



6. スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付けます。



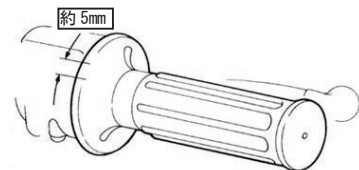
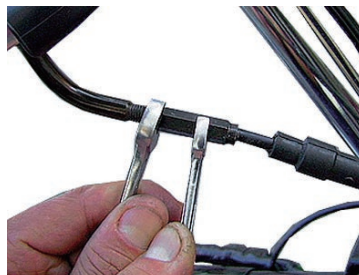
7. シリンダーヘッドとインレットパイプの間にインレットパイプガスケットを挟み、ソケットキャップスクリュー 6x20 2本を規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
 ソケットキャップスクリュー  
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)



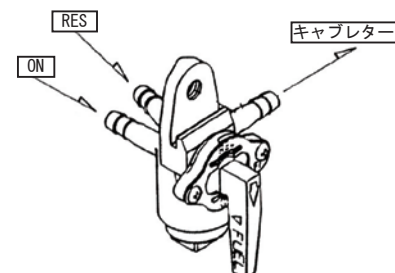
8. スロットルグリップ部で5mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。スロットルを数回スナップさせ引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認します。

※ステアリングを左右にいっぱい切った状態でスロットルに遊びがある事を確認して下さい。



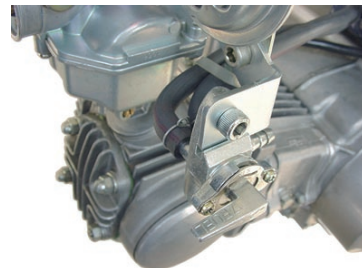
9. フューエルコックにフューエルチューブをそれぞれ差し込みチューブクリップを取り付けます。フューエルチューブに縦の筋が入っている方がRES側です。

※チューブに老化、ヒビ割れがある場合は、チューブを交換して下さい。



10. フューエルコックステータにフューエルコックを取り付け、キャップスクリュー 6x10 を規定トルクで締め付けます。  
 付属のインシュロックタイでフューエルチューブを出るだけ他の部品に干渉しないように束ねます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
 ソケットキャップスクリュー  
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)



11. エアフィルターをキャブレターに取り付け、バンドを締め付けます。ホーンにコードを接続します。



12. ガソリンを入れ、フューエルコックをONにし、各部からのガソリン漏れの有無を確認します。(コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。)

問題がなければ、チョークレバーを引きエンジンを始動させ各部からの吸気漏れの有無を確認します。チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行いチョークレバーを完全に戻します。エンジン暖気後アイドル回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

13. フロントカバーを取り付けます。

# キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
<ul style="list-style-type: none"> <li>・爆発音が重い感じで断続する。</li> <li>・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。</li> <li>・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。</li> <li>・クリーナーを外すと調子が良くなる。</li> <li>・排気ガスが濃い。(黒い)</li> <li>・プラグが黒くくすぶる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンがオーバーヒート気味になる。</li> <li>・チョークを作動すると、調子が良くなる。</li> <li>・加速が悪い。(息付きをおこす)</li> <li>・回転変動があり、力がない。</li> <li>・プラグが白く焼ける。</li> </ul>

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。

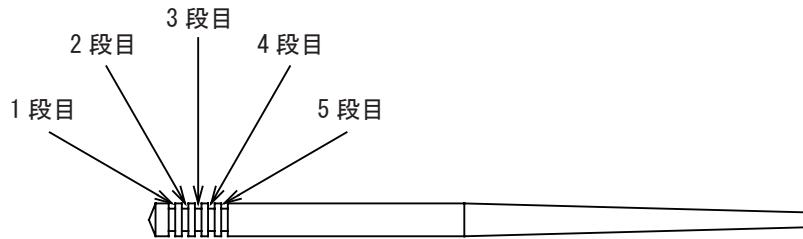
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

## ○ジェットニードル (スロットル開度 1/4-3/4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がり重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



## ○メインジェット (スロットル開度 3/4-4/4)

- ・この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
- ・仕様等を考慮の上、最高回転数 (最高速度) の得られる物を選んで下さい。

## ○パイロットジェット (調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量 3.0 回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。  
パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

## ○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。

標準戻し回転数 (1.5 回転) に合わせ、左右に 1/4-1/2 回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。

アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

## ●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。